

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 1 月 11 日  
東京電力株式会社

## < タービン建屋地下のたまり水の処理 >

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

### [処理設備]

- ・H24/1/4 14:36 第二セシウム吸着装置を起動。14:48 定常流量に到達。
- ・H24/1/11 15:22 セシウム吸着装置を起動。15:30 定常流量に到達。

### [貯蔵設備]

- ・H23/6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

## トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元 移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]	・1/10 8:17 ~ 1/11 15:21 移送実施
	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋、 雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・1/11 15:45 ~ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋、 雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・1/11 15:39 ~ 移送実施中
6号機	・6号機タービン建屋 仮設タンク	・1/11 移送なし

移送先	移送先の水位状況 (1/11 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 3,974 mm(水位上昇累計: 5,191 mm) 1/10 7:00 から 502 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 3,109 mm(水位上昇累計: 3,835 mm) 1/10 7:00 から 661 mm 下降

・1/11 9:47 ~ 15:32 サイドバンカ建屋から集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]へのたまり水の移送を実施。

## トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (1/11 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P.+ 850 mm (1/10 7:00 と同じ)	O.P.+ 3,133 mm (1/10 7:00 から 18 mm 上昇)	O.P.+ 4,224 mm (1/10 7:00 から 4 mm 下降)
2号機	O.P.+ 3,065 mm (1/10 7:00 から 92 mm 下降)	O.P.+ 3,047 mm (1/10 7:00 から 83 mm 下降)	O.P.+ 3,207 mm (1/10 7:00 から 79 mm 下降)
3号機	O.P.+ 3,164 mm (1/10 7:00 から 13 mm 上昇)	O.P.+ 3,123 mm (1/10 7:00 から 39 mm 上昇)	O.P.+ 3,394 mm (1/10 7:00 から 31 mm 上昇)
4号機	-	O.P.+ 3,107 mm (1/10 7:00 から 変化なし)	O.P.+ 3,122 mm (1/10 7:00 から 変化なし)

## < 放射性物質のモニタリング >

### 海水核種分析結果(参考値)

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約 30m	1/10	8:45	ND	0.05	0.05
福島第一 1~4号機放水口南側約 330m	1/10	8:25	ND	0.01	0.02
福島第二 3,4号機放水口付近	1/10	8:20	ND	0.02	ND

・その他福島県沿岸1地点(1/10 採取分)、沖合5地点(1/9 採取分)および、宮城県沖合6地点(1/4 採取分)における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)は全てND。

### < 使用済燃料プールの冷却 > (1/11 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	13.0
2号機	循環冷却システム	運転中	13.3
3号機	循環冷却システム	運転中	14.2
4号機	循環冷却システム	運転中	21

【4号機】・H23/11/29～ 使用済燃料プールの塩分除去のため、イオン交換装置の運転を開始。

### < 原子炉压力容器への注水・原子炉の状況 > (1/11 11:00 時点)

号機	注水状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約4.6m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約1.7 m <sup>3</sup> /h)	25.3	25.8	106.0 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約2.8m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約7.1 m <sup>3</sup> /h)	48.1	50.4	110 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約1.0m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約8.0 m <sup>3</sup> /h)	46.3	55.4	101.6 kPaabs

【2号機】・1/11 10:10 2号機原子炉格納容器内部調査の準備に伴い、格納容器内の圧力を低下させるため、原子炉格納容器への窒素封入量を約13m<sup>3</sup>/hから約10m<sup>3</sup>/hに調整。なお、原子炉格納容器ガス管理システムからの排気量については変化なし。

【3号機】・1/11 10:18 原子炉への注水について、タービン建屋内炉注水ポンプの試運転準備に伴う給水系からの注水配管切替のため、給水系からの注水量を約1.9m<sup>3</sup>/hから1.0m<sup>3</sup>/h、炉心スプレイ系からの注水量を約7.0m<sup>3</sup>/hから約8.0m<sup>3</sup>/hに調整。

【4号機】【5号機】【6号機】・特に変化なし

### < その他 >

・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5、6号機滞留水浄化の水を利用し、散水を継続実施中。

・H24/1/9 14:22 頃 建設中の廃スラッジ貯蔵施設\*において、コンクリート打設作業を行っていた協力企業作業員1名が体調不良を訴え、5 / 6号機緊急医療室に運ばれ、治療を受けたが、心肺停止状態であることから、15:25、福島第一原子力発電所から総合磐城共立病院へ搬送。なお、作業員の身体に放射性物質の付着はない。

1/11 13:00 頃 元請企業より、医師により1/9 17:02 に同作業員の死亡が確認された旨、当社へ連絡あり。

\* 廃スラッジ貯蔵施設:滞留水処理の過程で発生する放射性廃棄物(廃スラッジ)を一時貯蔵するための施設。

・H24/1/11 10:40～12:10 2号機原子炉格納容器ガス管理システムの気体のサンプリングを実施。

・H24/1/11 14:39 原子炉建屋内の安定した冷温停止状態を維持するために必要となる設備の劣化防止ならびに同建屋内の高湿度環境の改善のため、5号機原子炉建屋換気空調系を起動。

16:20 6号機原子炉建屋換気空調系を起動。

当該空調系の排気については、吸気および排気側に設置した高性能粒子フィルターを通じて実施。

・H24/1/11～ 集中廃棄物処理施設のプロセス主建屋と雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)間のトレンチにおける放射性物質を含む溜まり水の発見(H23/12/18)を受け、発電所構内のその他のトレンチ等の点検を開始。

以上